

鳥取県立公文書館報

第26号
(平成28年度)

鳥取県立公文書館

目 次

公文書館の概要

1 設置の目的	1
2 機能	1
3 組織	1
4 平成28年度予算	1
5 平成28年度事業計画	2
〔 公 文 書 担 当 〕	2
(1) 引継ぎ	
(2) 整理・保存	
(3) 普及事業	
(4) その他	
〔 県 史 編 さん 室 〕	3
(1) 新鳥取県史編さん委員会等の運営	
(2) 調査研究	
(3) 資料編の刊行	
(4) 普及事業	

平成27年度事業概要

〔 公 文 書 担 当 〕	
1 特定歴史公文書等の引継ぎ等の状況	4
(1) 鳥取県公文書等の管理に関する条例第2条第4号アにより引き継いだもの	
(2) マイクロフィルムにより複製、保存しているもの	
(3) 刊行物等の行政資料	
(4) 寄贈、寄託資料（鳥取県公文書等の管理に関する条例第2条第4号ウによるもの等）	
2 整理・保存の状況	6
(1) 簿冊等紙資料の修復	
(2) 写真資料関係の補修及び電子化等	
(3) 複製本の作成	
(4) 書庫の管理	
3 利用の状況	6
(1) 鳥取県公文書等の管理に関する条例第13条に基づく利用請求の状況	
(2) 刊行物等の行政資料に対する申込み状況	
(3) 閲覧室等での一般の利用状況	
(4) 閲覧室等での県職員の利用	
4 展示の状況	7
(1) 常設展	
(2) 企画展	
5 その他	7
(1) 鳥取短期大学講義	
(2) 岩美中学校第2学年道徳講演会	
(3) 県市町村公文書等管理連絡協議会	
(4) 公文書等資料の保存と管理について講師を派遣	
(5) 鳥取県立公文書館報第25号の発行	

[県史編さん室]

1	新鳥取県史編さん委員会等の運営	9
	(1) 委員名簿	
	(2) 会議	
2	各専門部会の活動	10
	(1) 考古部会	
	(2) 古代中世部会	
	(3) 近世部会	
	(4) 近代部会	
	(5) 現代部会	
	(6) 民俗部会	
3	刊行物	11
	(1) 資料編	
	(2) 県史ブックレット	
4	普及事業	11
	(1) 巡回講座	
	(2) 出前講座・依頼講演	
	(3) 県史だよりの発行	
	(4) ホームページの更新	

公文書館の概要

1 設置の目的

公文書館は、歴史資料として重要な県等の公文書、その他の記録などを保存し、県民の利用に供するとともに、県政に関する情報を提供し、学術及び文化の発展と開かれた県政を推進することを目的とする。

2 機能

(1) 公文書の引継ぎ、整理及び保存並びに一般利用

鳥取県公文書等の管理に関する条例に基づき、歴史公文書等のうち、特定歴史公文書等として引き継いだものを整理・保存するとともに、一般利用に供する。

(2) 行政資料などの配架

行政資料・統計資料を自由に閲覧できるよう閲覧室に配架する。

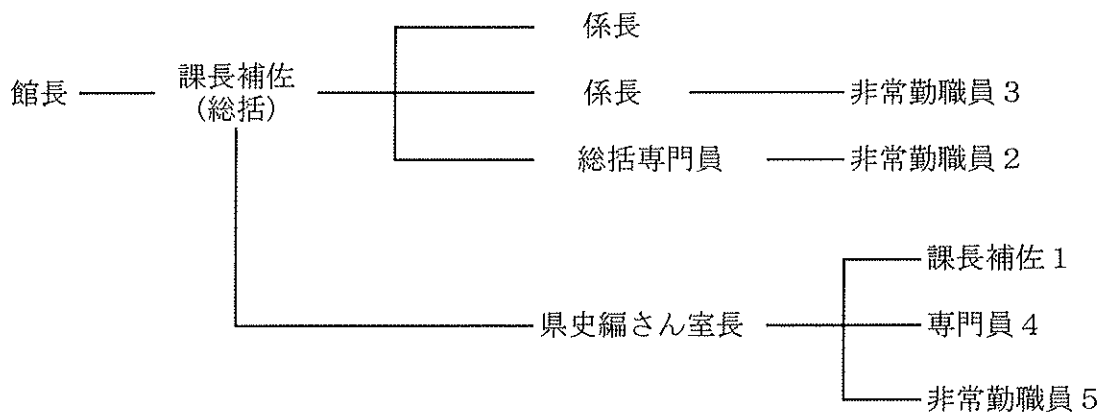
(3) 情報の提供

県の施策その他県政に係る歴史的事実に関する調査研究を行い、その成果を企画展などを通じて情報提供する。

(4) 県史編さん

新鳥取県史を編さんし、順次刊行するとともに、ブックレットの刊行、講演会の開催等の普及事業も実施する。

3 組織（平成28年4月1日現在）



4 平成28年度予算

(単位：千円)

事業名	当初予算額
公文書館普及事業	1,304
歴史資料保存事業	4,908
公文書収集整理事業	7,380
公文書館管理運営費	37,971
新鳥取県史編さん事業	45,858
合計	97,421

5 平成28年度事業計画

〔公文書担当〕

(1) 引継ぎ

- ア 実施機関が作成した歴史公文書等について、保存年限満了後速やかに当館へ引き継ぐ。
- イ 引き継がれた簿冊について、早期に利用制限情報に関する審査を行う。
- ウ 所蔵簿冊の点検を行い簿冊目録の整備を図る。
- エ 書庫の狭あい化に備えて、当面の書庫管理の適正化を図る。

(2) 整理・保存

- ア 簿冊（公文書綴り）等紙資料の補修
劣化・破損の著しい簿冊や寄贈を受けた貴重資料を、専門事業者に委託して脱酸、裏打ち、漉き詰め（リーフキャスト）等で補修する。軽易な補修は職員が行う。
- イ 写真の電子化及び印画紙焼付け
利用度の高いものから順次電子化を行う。原板（ネガ等）は専用フォルダに収納すると共に、電子化されたデータを印画紙焼付け（L版）にして整理・目録化する。
- ウ 複製本の作成
類縁機関からマイクロフィルム撮影等によって収集した資料を複製本化する。
- エ 書庫の管理
IPM（総合的有害生物管理）を利用して管理すると共に、温湿度の管理を徹底させる。
※IPMとは、従来のくん蒸剤による書庫及び資料管理に替えて、清掃による虫やカビの回避や、侵入ルートの遮断等予防に重きを置く方法。

(3) 普及事業

- ア 常設展
展示コーナー（館内及び共通通路）において、県政に関わる資料を展示する。共通通路については、話題性のある資料をもとに、年2回の入替を行う。
- イ 企画展
「鳥取大火の初公開写真」
（会期：平成28年4月21日（木）～6月5日（日））
「昭和40年の鳥取県」
（会期：平成28年10月1日（土）～11月6日（日））

(4) その他

- ア 鳥取県公文書等の管理に関する条例第26条及び鳥取県立公文書館管理運営要綱第27条に基づき、公文書館の事業概要等を掲載した『鳥取県立公文書館報』第26号を作成し、当館ホームページで公開する。
- イ 県市町村公文書等管理連絡協議会
公文書の保存に関する啓発と情報交換を行うため、市町村職員等を対象として連絡会を開催する。（7～8月）

〔県史編さん室〕

- (1) 新鳥取県史編さん委員会等の運営
新鳥取県史編さん委員会及び専門部会(考古、古代中世、近世、近代、現代、民俗)を開催し、編さん事業の方針について審議する。
- (2) 調査研究
『鳥取県史』(昭和38～57年度)以後の発見や研究の発展のあった事項、また十分に取り上げられていない事項を調査研究する。
- (3) 資料編の刊行
『新鳥取県史 資料編 考古1 旧石器・縄文・弥生時代編』
『新鳥取県史 資料編 古代中世2 古記録編』
『新鳥取県史 資料編 近代6 軍事兵事編』の3巻刊行予定。
- (4) 普及事業
事業の成果を分かり易く提供する。
ア 巡回講座等の開催(テーマ「鳥取県の民俗信仰」等)
イ ホームページでの情報発信(県史だより等)

平成27年度事業概要

〔公文書担当〕

1 特定歴史公文書等の引継ぎ等の状況(平成28年3月31日現在)

(1) 鳥取県公文書等の管理に関する条例第2条第4号アにより引き継いだもの
平成27年度は568冊の引継ぎを行い、合計50,186冊となった。(単位:冊)

区 分		保 存 区 分	H26年度まで	H27年度	合 計
知事部局	本 庁	30年(旧永年)	30,269	110	30,379
		10年以下(旧有期限)	12,120	327	12,447
	地方機関	30年(旧永年)	1,645	6	1,651
		10年以下(旧有期限)	936	29	965
	小 計	30年(旧永年)	31,914	116	32,030
		10年以下(旧有期限)	13,056	356	13,412
知事部局以外	教育委員会 本庁	30年(旧永年)	2,089	0	2,089
		10年以下(旧有期限)	591	18	609
	教育委員会 県立学校	—	186	62	248
	公安委員会	—	4	4	8
	警察本部	30年(旧永年)	132	0	132
		10年以下(旧有期限)	4	2	6
	人事委員会	30年(旧永年)	266	0	266
		10年以下(旧有期限)	9	1	10
	監査委員	30年(旧永年)	20	0	20
		10年以下(旧有期限)	292	1	293
	労働委員会	30年(旧永年)	431	0	431
		10年以下(旧有期限)	3	0	3
	収用委員会	—	2	0	2
	病院事業管理者	—	6	7	13
土地開発公社	—	8	1	9	
小 計	—	4,043	96	4,139	
県議会	30年(旧永年)	605	0	605	
合 計			49,618	568	50,186

- ① 「鳥取県公文書等の管理に関する条例」(平成24年4月1日施行)に伴い、保存区分が見直され永年が30年となった。また、知事部局をはじめとする15機関が公文書館へ公文書を引き継ぐ機関として位置づけられた。(表には引継ぎのあった機関のみを掲載)
- ② 知事部局本庁の10年・5年保存(旧有期限)文書については、平成23年度までは「鳥取県文書の整理、保管及び保存に関する規程」(平成24年4月1日廃止)に基づき、歴史資料として重要と判断したものを引き継いでいる。知事部局地方機関については、平成7年度から知事部局本庁と同様の方針で引継ぎを実施している。
- ③ その他の機関については、教育委員会本庁(平成8年度から)、人事委員会(平成10年度から)、労働委員会(平成10年度から)、県議会(平成10年度から)、監査委員(平成22年度から)それぞれ知事部局本庁と同様の方針で引継ぎを実施してきた。
- ④ 警察本部の30年(旧永年)については、現行警察制度以前(明治～昭和22年)の文書を平成16年度に引き継いだものである。

- (2) マイクロフィルムにより複製、保存しているもの
当館所蔵公文書等の不足分を補充するため、他機関等が所蔵する公文書を複製収集しており、また、当館所蔵の劣化した公文書及び県史編纂収集資料についても複製保存している。

(単位:コマ数)

区 分		平成26年度まで	平成27年度	計
欠 落 公 文 書 の 補 充	県内市町村関係	63,654	0	63,654
	島根県関係	59,381	0	59,381
	福島県移住関係	12,144	0	12,144
	北海道移住関係	18,789	0	18,789
	国立公文書館	477	0	477
	学校調査関係	569,615	0	569,615
	その他	7,640	0	7,640
	計	731,700	0	731,700
劣化公文書		85,355	0	85,355
県史編纂収集資料		108,493	0	108,493
合 計		925,548	0	925,548

- (3) 刊行物等の行政資料

(単位:冊)

区 分		平成26年度まで	平成27年度の増減	計
行 政 資 料		31,475	265	31,740
統 計 資 料		25,652	400	26,052
合 計		57,127	665	57,792

内規による廃棄を実施しているため数が減少

- (4) 寄贈、寄託資料(鳥取県公文書等の管理に関する条例第2条第4号ウによるもの等)

県史編さん関係原文書	379点
寄 贈 資 料	約10,000点

2 整理・保存の状況

(1) 簿冊等紙資料の修復

劣化・破損の著しい簿冊や寄贈を受けた貴重資料等を脱酸、裏打ち、漉き締め（リーフキャスト）等で修復してきており、平成27年度は簿冊の修復を実施した。

区 分	平成26年度まで	平成27年度	計
簿 冊	19	2	21冊
図 面 類	606	0	606舗
簿冊以外の紙資料	10	0	10点

(2) 写真資料関係の補修及び電子化等

劣化・破損の著しい写真アルバムの補修とともに、マイクロフィルム、その他の写真フィルムの電子化を実施してきており、平成27年度は写真アルバムの修復と写真フィルムの電子化を行った。

区 分	平成26年度まで	平成27年度	計
写真アルバム修復	16	2	18冊
マイクロフィルム電子化	126,573	0	126,573コマ
写真フィルム電子化	46,162	6,812	52,974コマ

(3) 複製本の作成

原本保存と利用者の利便を図るため、原本やマイクロフィルム等を複製本化している。

区 分	平成26年度まで	平成27年度	計
複製本作成	1,619冊	66冊	1,685冊

(4) 書庫の管理

簿冊管理の適正化と書庫スペースの効率的活用を図るため、簿冊排架位置の確定と書庫情報の付与を行った。

3 利用の状況

(1) 鳥取県公文書等の管理に関する条例第13条に基づく利用請求の状況

区分	請求者数 (人)	請求件数 (件)	利用決定区分			不服申立 件数
			全部利用	部分利用	利用制限	
引 継 公 文 書	45	144	127	17	0	0
寄 贈 寄 託 資 料	75	404	401	3	0	0
合 計	120	548	528	20	0	0

※ 上記のほかに鳥取県公文書等の管理に関する条例第22条による鳥取県職員の利用請求が324人(676件)あり。

(2) 刊行物等の行政資料に対する利用申込み状況

区 分	申 込 者 数	件 数
一 般 県 民	91人	297件
県 職 員	25人	69件

(3) 閲覧室等での一般の利用状況

月別	来館者数	内 訳				
		資料・展示 閲覧のみ	相談・案内			写しの交付
			人	件	冊	
4 月	476	401	75	6	25	36
5 月	495	437	58	8	13	30
6 月	395	317	78	17	370	45
7 月	363	304	59	12	94	99
8 月	545	468	77	20	146	804
9 月	377	310	67	19	171	364
10 月	397	334	63	18	265	419
11 月	298	256	42	14	65	135
12 月	296	264	32	7	20	8
1 月	280	233	47	15	54	289
2 月	316	261	55	20	117	87
3 月	300	257	43	8	24	58
平成27年度計	4,538	3,842	696	164	1,364	2,374

(4) 閲覧室等での県職員の利用

年 度	利用者数 (人)	資料閲覧・貸出 (冊)
平成27年度	544	1,080

4 展示の状況

(1) 常設展

鳥取県の誕生から明治期中頃までの資料を利用した「鳥取県ができるまで」を館内及び公文書館・図書館共通通路にて実施した。

(2) 企画展

ア 企画展

テーマ 「63年前の鳥取大火」

内 容 公文書館が所蔵する鳥取大火に関する簿冊や写真のうち、初公開写真をもとに、災害と復興の様子を紹介した。

会 期 平成27年4月22日(水)～6月7日(日)

入館者 819人

イ 企画展

テーマ 戦後70年記念事業「子どもたちの戦闘配置」

内 容 神戸からの学童集団疎開、満蒙開拓青少年義勇軍に関するパネル、関連する公文書館所蔵資料や関連書籍等の展示を、県西部、中部、東部合わせて4ヶ所で開催した。

会 期 平成27年7月21日(火)～平成28年1月11日(月)

入館者 326人(公文書館開催分)

5 その他

(1) 鳥取短期大学講義

日 時 平成27年10月27日(火)

内 容 教養科目「山陰論」－開けゆく山陰の近代－

講 師 伊藤 康(公文書館総括専門員)

受講生 約100名

(2) 岩美中学校第2学年道徳講演会

日 時 平成28年2月19日(金)
内 容 「澤田廉三さんの生き方に学ぶ」
講 師 伊藤康(公文書館総括専門員)
受講生 89名

(3) 県市町村公文書等管理連絡協議会

目 的 公文書等の管理に関する法律第34条の趣旨に基づき、県や市町村が保存する公文書等の望ましい公文書等の管理と保存方法について情報交換するとともに、担当者間の連携を図る。
日 時 平成27年10月1日(木)
場 所 県立公文書館 会議室
内 容 講演「四万十町文書管理の取組について」(四万十町職員)
報告「市町村における書庫整備事例」(公文書館職員)
館内見学(希望者)
参加者 10人

(4) 公文書等資料の保存と管理について講師を派遣

ア 平成27年度文書管理主任研修会

目 的 文書審査の要点、簿冊・公印の管理、歴史資料としての公文書の取扱い等について理解を深め、公文書管理条例及びその関連規程に沿った適切な文書事務が行われるようにする。
日 時 平成27年8月26日(水)、28日(金)、9月1日(火)
場 所 西部総合事務所、鳥取県庁、中部総合事務所
内 容 「文書事務の手引(改訂版)」データベースの利用について、公文書管理条例及び関連規程について、文書事務に関する注意事項、歴史資料としての公文書の取扱いについて
講 師 井上加奈子(公文書館係長)、野崎喜代美(公文書館専門評価員)
参加者 205名

イ 平成27年度公文書等の管理に関する条例に基づく公文書の作成・保存・引継ぎに関する研修会

目 的 入庁1年目から3年目までの若手職員の公文書等の管理に関する条例及びその関連規程の基礎知識を深め、条例等に沿った文書及び簿冊の作成、さらには保存、引継ぎが行えるようにする。
日 時 平成27年12月14日(月)、16日(水)、21日(月)
場 所 中部総合事務所、西部総合事務所、鳥取県庁
内 容 公文書管理条例及び関連規程、文書・簿冊の取扱い、歴史資料として残す公文書の判断基準について
講 師 中西健(公文書館課長補佐)
参加者 約120名

(5) 鳥取県立公文書館報第25号の発行

公文書等の管理の状況を公表するため、鳥取県立公文書館報第25号を作成し、平成27年6月にホームページで公開した。

〔県史編さん室〕

1 新鳥取県史編さん委員会等の運営

「新鳥取県史編さん事業」の編さん方針等を審議するため、編さん委員会委員を委嘱し、会議を開催した。

(1) 委員名簿

平成27年度 新鳥取県史編さん委員会委員(部会別)

	氏名	現職
(考古部会)		
1	高田 健一	鳥取大学地域学部准教授
2	根鈴 智津子	倉吉市教育委員会文化財課課長補佐
3	下高 瑞哉	米子市教育委員会文化財課課長補佐
4	中原 斉	県埋蔵文化財センター所長
(中世部会)		
1	秋山 伸隆	県立広島大学人間文化学部教授
2	末柄 豊	東京大学史料編纂所准教授
3	倉恒 康一	鳥根県教育庁文化財課研究員
4	宮崎 肇	早稲田大学非常勤講師
5	石田 敏紀	県立倉吉西高等学校教諭
(近世部会)		
1	池内 敏	名古屋大学大学院文学研究科教授
2	谷口 啓子	元県立公文書館非常勤職員
3	坂本 敬司	元県史編さん室長
4	山脇 幸人	倉吉市立図書館長
5	伊藤 康晴	鳥取地域史研究会会員
6	来見田 博基	県立博物館主任学芸員
(近代部会)		
1	岸本 覚	鳥取大学地域学部教授
2	田村 達也	元県立公文書館専門員
3	奥村 寧子	鳥取市あおや郷土館学芸員
4	白石 崇人	広島文教女子大学准教授
5	畔上 直樹	上越教育大学准教授
(現代部会)		
1	小山 富見男	鳥取敬愛高等学校長
2	喜多村 理子	鳥取短期大学講師
3	佐々木 孝文	鳥取市教育委員会文化財課課長補佐
4	鬼嶋 淳	佐賀大学文化教育学部准教授
5	石田 敏紀	県立倉吉西高等学校教諭
(民俗部会)		
1	坂田 友宏	米子工業高等専門学校名誉教授
2	喜多村 正	鳥根大学名誉教授
3	喜多村 理子	鳥取短期大学講師
4	轟 理恵子	跡見学園女子大学教授
5	福代 宏	県立博物館主幹学芸員
6	原島 知子	県教育委員会文化財課文化財主事
(県)		
1	伊澤 勇人	県総務部長
2	田中 規靖	県教育委員会次長

(2) 会議

平成27年	6月6日	第1回古代中世部会（於：公文書館。以下同じ）
	6月30日	第1回考古部会
	6月30日	第1回民俗部会
	7月9日	第1回新鳥取県史編さん委員会
	7月11日	第1回近代部会
	7月12日	第1回現代部会
	9月9日	第1回近世部会
	9月19日	第2回古代中世部会
	10月26日	第2回民俗部会
	10月28日	第2回考古部会
	11月9日	第2回近代部会
	11月23日	第2回現代部会
平成28年	1月26日	第2回新鳥取県史編さん委員会

2 各専門部会の活動

(1) 考古部会

ア 遺物再整理

- ・ 12遺跡222点の遺物を実測。資料編1巻目遺物のトレース。
- ・ 弥生時代青銅器の調査研究（奈良文化財研究所との委託研究）。銅鐸等17点

イ 古墳測量

- ・ 福本大塚古墳（八頭町）の石室測量。桝間1号墳（鳥取市）の墳丘測量に向けた準備。

ウ 資料編の編集

- ・ 各執筆者からの原稿のとりまとめ。

(2) 古代中世部会

ア 史料調査

- ・ 『古記録編』に収録する中世資料の調査・撮影。

県内： 甘露神社（岩美町）、鳥取県立博物館、大塚薬師堂、末松神社、武宮神社、口佐治神社（鳥取市）、智頭町史編さん室、個人宅（智頭町）、小嶋神社、山守神社（倉吉市）、米子市立山陰歴史館、貴布禰神社、実久神社、日吉神社、宇田川神社、天神垣神社、三輪神社（米子市）、境港市史編さん室（境港市）、大山寺洞明院（大山町）、祐生出合いの館、熊野神社、小松神社、長田神社、福田正八幡宮（南部町）、賀茂神社（伯耆町）、個人宅（江府町）、根雨神社、巖島神社、菅福神社、神田神社、聖神社（日野町）

県外： 大和文華館（奈良県）、個人宅（大阪府）

イ 『古記録編』の収録資料の割裂・校注

- ・ 約400冊の資料集から抽出した鳥取関係資料を対象に調査委員3名で実施。

(3) 近世部会

ア 史料調査

- ・ 資料編収録候補となる近世史料の調査・撮影。

県内： 鳥取県立博物館、鳥取大学附属図書館、鳥取県立図書館、鳥取市歴史博物館、鳥取市史編さん室、若桜町教育委員会（若桜町）、智頭町教育委員会（智頭町）、大雲院（鳥取市）、賀露神社（鳥取市）、個人宅（鳥取市）

県外： 国立国会図書館（東京都）、国立公文書館（東京都）、東京都立中央図書館（東京都）

イ 鳥取県史ブックレット18『大庄屋と地域社会—八橋郡飽津村河本家文書が語るもの—』の編集・刊行

ウ 『因幡編』『地誌編』に収録する古文書の解説

(4) 近代部会

ア 『行政1』の編集・刊行

イ 資料調査

- ・ 資料編収録候補となる近現代史料の調査・撮影。選定シートの作成。

県内： 鳥取県立公文書館、鳥取市歴史博物館、鳥取市佐治総合支所（鳥取市）、米子市尚徳公民館、大神山神社、西日本旅客鉄道米子支社（米子市）、日野町歴史民俗資料館（日野町）、日南町郷土資料館（日南町）

県外： 秋田県立公文書館（秋田市）、青谿書院（養父市）、島根県公文書センター（松江市）

(5) 現代部会

ア 資料調査

- ・ 資料編収録候補となる近現代史料の調査・撮影。選定シートの作成。

県内： 鳥取県立公文書館、鳥取県議会図書館、鳥取県立図書館、鳥取市歴史博物館、山陰歴史館、米子市立図書館、個人宅（鳥取市・米子市等）

県外： 国立公文書館、国立国会図書館（千代田区）、防衛省防衛研究所（港区）、兵庫県立歴史博物館（姫路市）、島根県立図書館（松江市）、個人宅（西宮市）等

(6) 民俗部会

ア 『民俗編』の編集・刊行

イ 民具調査

- ・ 江府町歴史民俗資料館、倉吉博物館、鳥取市気高町逢坂地区、智頭町、南部町浅井、宮城県大崎市での民具調査を実施。

3 刊行物

(1) 資料編（A5判、各5,000円）

- ・ 『新鳥取県史 資料編 近代4 行政1』（H28.3.31刊行、938頁、460部印刷）
- ・ 『新鳥取県史 民俗1 民俗編』（H28.3.31刊行、911頁、450部印刷）

販売場所

公文書館、県庁県民課、八頭庁舎八頭県土整備事務所、中・西部総合事務所地域振興局、日野振興センター日野振興局地域振興課

(2) 県史ブックレット（A5判、各500円）

- ・ 第18巻『大庄屋と地域社会』（坂本敬司委員執筆、H28.3.25刊行、120頁、1,000部印刷）

販売場所

公文書館、県庁県民課、八頭庁舎八頭県土整備事務所、中・西部総合事務所地域振興局、日野振興センター日野振興局地域振興課、県内各書店、鳥取県立博物館、鳥取市歴史博物館、仁風閣、因幡万葉歴史館、琴浦町日韓友好資料館・韓国物産館（第5巻のみ）、国立ハンセン病資料館（第2巻のみ）、ふるさと鹿野（第4巻のみ）、境港市観光協会（第13巻のみ）

4 普及事業

(1) 巡回講座

期日	会場	講座名（担当者）・テーマ	参加数
8/1 (土)	米子市立図書館 多目的研修室	「神戸からの学童集団疎開～子どもたちの戦闘配置～」 (石田敏紀委員)	21
8/7 (金)	船上山少年自然の家	「明治期鳥取県における研究する教師の起源」 (白石崇人委員)	35
8/8 (土)	倉吉交流プラザ	「鳥取県の満蒙開拓青少年義勇軍～送出率日本一の理由～」 (小山富見男委員)	26

期日	会 場	講座名(担当者)・テーマ	参加数
9/20 (日)	鳥取県立博物館 講 堂	「古文書が語る中世の鳥取(1)」 (秋山伸隆・末柄豊委員)	130
9/22 (火)	米子市文化ホール	「古文書が語る中世の鳥取(2)」 (錦織勤氏・倉恒康一委員)	100
10/24 (土)	米子市立図書館 多目的研修室	「西伯耆の近世文書―『新鳥取県史資料編』から― (坂本敬司委員)	50
12/12 (土)	鳥取県立博物館 講 堂	「鳥取県への学童集団疎開」 (石田敏紀委員)	40

(2) 出前講座・依頼講演

期日	会 場	講座名(担当者)・テーマ	参加数
5/25 (月)	鳥 取 大 学	『鳥取の歴史に学ぶ』講座(1) 「天下統一に向けた鳥取城攻防」(岡村)	70
5/29 (金)	鳥 取 大 学	『鳥取の歴史に学ぶ』講座(2) 「亀井茲矩の治政と朱印船貿易」(岡村)	40
7/14 (火)	鹿野町中央公民館	鹿野学講座 「戦国時代の亀井茲矩」(岡村)	50
7/14 (火)	白 兎 会 館	鳥取県東部地区高等学校地歴公民科研究会 「鳥取県再置と地方税分割問題」(前田)	30
8/1 (火)	鳥取ガスショー ルームサルーテ	ふるさと民話の集い 「鳥取県の妖怪」(榎村)	20
8/23 (土)	倉吉市高城地区 公 民 館	倉吉博物館講座 「昭和20年の総動員／ち号演習と高城飛行場」(西村)	70
9/11 (土)	鳥取東高等学校	とっとり県民の日講演会 「とっとり県民の日と鳥取県再置について」(前田)	1000
9/12 (土)	むきばんだ史跡 公 園	よどえだいせんトークプレイス「豊作をいのる」 「伯耆を中心とした稲作儀礼」(榎村)	20
11/7 (土)	境港市中央公民 館	境港歴史散歩講演会 「中海に支えられた伯州綿」(榎村)	40

(3) 県史だよりの発行

- ・ 記事内容 歴史・民俗に関する小記事など
- ・ 発行形態 ホームページ版と紙版(A4判4ページ、県内図書館などへ配布)
- ・ 発行頻度 月1回

(4) ホームページの更新

- ・ 記事内容 ①巡回講座、ブックレット刊行の案内など(随時更新)
②史料調査のレポートなど(最近の活動から)(随時更新)
③県史だより(月1回更新)

利用案内

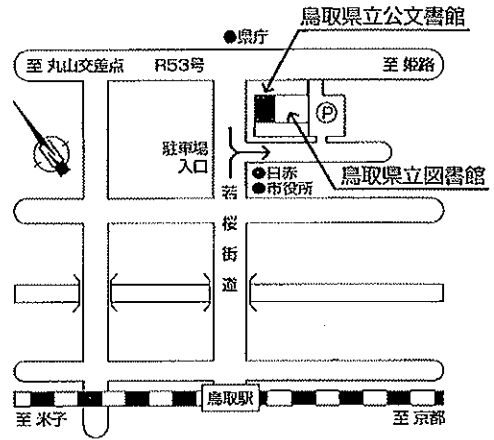
案内図

開館時間

●月～金曜日 9:00～17:00

休館日

- 日曜日、土曜日
- 国民の祝日及び振替休日
- 年末年始（12月29日～1月3日）
- 展示コーナーについては、年末年始及び月末に当たる場合を除き、日曜日、土曜日でも入館できます。



徒歩 鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ
徒歩20分

バス 鳥取バスターミナルより
湖山・鳥大線、賀露線など
「県庁日赤前」下車徒歩1分

鳥取県立公文書館報

第26号—平成28年度—

平成28年5月発行

編集・発行 鳥取県立公文書館
〒680-0017 鳥取市尚徳町101番地
電話 (0857)26-8160
ファクシミリ (0857)22-3977
電子メール kobunsho@pref.tottori.jp
<http://www.pref.tottori.lg.jp/kobunsho>